町田市町内会・自治会
連合会だより

E-mail : machida_choujiren@yahoo.co.jp

2023年7月

95号

219 団体
82,730 世帯
町田市原町田 4-9-8
042-722-4262
発行人　高橋　清人

役員の紹介

今年度の役員は全員昨年度と同じです。連合会長は任期２年で、改選期でありません。各地区から推薦される地区長も全員昨年度と変わりはありません。

市連合会会長　　高橋　清人

町内会自治会の加入率が低下しています。今年はコロナによる制約がほぼ無くなりコロナ以前の活動のレベルまで回復することが期待されます。さらに求められるものは、防災力の強化です。最も大切な自助、共助を充実させなければなりません。また活動の効率化や情報伝達の改善のために積極的なデジタル化が必要です。皆さんと一緒に力を合わせて魅力ある町内会自治会にして行きましょう。

玉川学園南大谷地区会長
会長代行　服部　知行

「町内会ばなれ」が叫ばれるようになって久しくなりますが、解消するための妙案はなかなかありません。人と人とのつながりを深め地域コミュニティを形成していくために、日頃の地道な活動を積み重ねていく事しかないと思います。地域の人々や若い世代の人たちが望んでいることは何か？安全で安心して暮らせる地域を作って行くための方法は何か？他の地区ではどのような活動をしているのか？これらのことを市連の活動を通じて考えて行く一年としたいと思います。

南地区会長
長谷川　義剛
副会長（会計担当）

今年の５月８日から、新型コロナウイルス感染症が２類から５類に分類移行され、新型コロナウイルスが収束した訳ではないですが、気分的にはやや落着いて来たと思われます。「**みんなのみなみ**」の合言葉のもと、さらに安全・安心の住み良い魅力的な街づくりを目指して行きます。

高ヶ坂成瀬地区会長
中村　清史
副会長（総務担当）

新型コロナウイルスも５類感染症移行に伴い、各種行事も動き始めて参りました。当連合会も地域交流の一環として、ソフトバレーボール大会をはじめ、成瀬地域でのレクレーション大会・高ヶ坂地域での各種フェスタ等の参加者を昨年以上に増していきたいと思います。

町田第一地区会長
平本　勝哉
副会長（総務担当）

町田第一地区は中心市街地の９町内会・自治会の組織です。大型店や商店で賑わう繁華街、公民館や文学館・図書館・芹ケ谷公園等があり、昼夜を問わず多くの来街者が訪れます。災害が起きれば大混乱が予想され防災対策が必須の課題です。諸官庁、消防団等と連携し地域の安全・安心に貢献してまいります。

町田第二地区会長
中　一登
副会長（庶務担当）

デジタル化は日増しに進化、生活環境も大きく変化（進化？）しております。町内会・自治会もスピードをもって進化しなければならない時期にあります。生活者として変化に適応し、安全、安心な街づくりを目指し、活動、行動をしてまいりたいと思います。

木曽地区会長
金子　清勝
副会長（会計担当）

「お付き合い」の大切さを周知し、自治会離れ対策の仕組みを考える年と考えています。「不便・不足・不自由（３F)」、これが今では概ね満たされている。他に頼ることなく日常が成り立ってしまうが、災害時の３F には団体の組織力が発揮されます。関東大震災から１００年、皆さん３Ｆを想定して下さい。

忠生地区会長
川畑　一隆
副会長（庶務担当）

すべての世代が助け合う、安全で住みやすい活気ある地域づくりを目指しています。バイオマスエネルギーセンターの安全運転・環境保全を厳しく見守り、周辺のまちづくり、災害への備え、デジタル社会への対応等に取り組んでいます。モノレールや小田急線延伸の早期実現を進めます。

鶴川地区会長
仲村　清彦
副会長（広報担当）

１９４５年南多摩郡鶴川村真光寺に生まれる。２０歳まで町田市で育つ。３６歳で真光寺に戻る。自宅の生韻園（椿園）にもどり、家業（植木生産、造園業）を継承する。２００８年より真光寺町内会長となり現在に至る。日本で一番住みよい街を造るのが目標である。

小山地区会長
安達　廣美
副会長（広報担当）

令和５年５月コロナ禍も２類から５類へ移行され、これを機に街の中も一気に活性化され始めました。小山地区も各町内会・連合町内会による、各種イベントを４年ぶりに復活することになり、昼夜問わず準備に右往左往する毎日です。今年は新な思い出が生まれることを目指し活動して参ります。

相原地区会長
渡代　真知子
副会長（庶務担当）

前年度は地区長初めての体験で、あわただしく一年が過ぎました。今年は二年目になりますので、微力でも活動にお役に立てるよう、努力していく所存です。よろしくお願いいたします。

【２０２３年度定期総会開催】

２０２３年度の町田市町内会・自治会連合会(市連)の定期総会は町田市民フォーラム３階ホールにて、5月21日(日)午後2時より通常開催されました。

高橋会長の挨拶の後、石阪市長、戸塚市議会議長、小倉衆議院議員、伊藤衆議院議員から祝辞をいただきました。衆議院議員、都議会議員、市議会議員、商工会議所会頭、社会福祉協議会会長、町田防犯協会会長、南大沢警察署長代理、町田消防団団長、防災安全部長、市民協働推進担当部長の２０名の来賓者の出席をいただきました。

（高橋会長挨拶）

（石阪市長祝辞）

市連加盟２１９団体のうち、出席者１１８名、委任状８９の計２０７名をもって総会成立要件を満たしているとして、仲村副会長から定期総会の開会宣言が言い渡されました。その後、大塚議長、和田書記が選出され議案審議に入りました。

(第１号議案) ２０２２年度事業報告

1 加入促進と事業運営の充実
2 広報活動の推進と地区連合会との情報の共有、相互の連携強化
3 会長研修会の充実と地域の課題を市政に反映
4 防災・防犯・交通対策の強化
5 エコ社会の啓発と活動の推進
6 明るい街づくりのための協力と推進
7 東京都町会連合会事業

(第２号議案) ２０２２年度決算報告　同会計監査報告

(第３号議案) ２０２３年度事業計画(案)

1 加入促進と事業運営の充実
2 広報活動の推進と地区連合会との情報の共有、相互の連帯強化
3 会長研修の充実と地域の課題を市政に反映
4 デジタル社会への対応
5 防災・防犯・交通対策の強化
6 エコ社会の啓発と活動の推進
7 明るい街づくりのための協力と推進
8 その他連合会規約第３条の目的に合致する事業推進

(第４号議案) ２０２３年度予算(案)

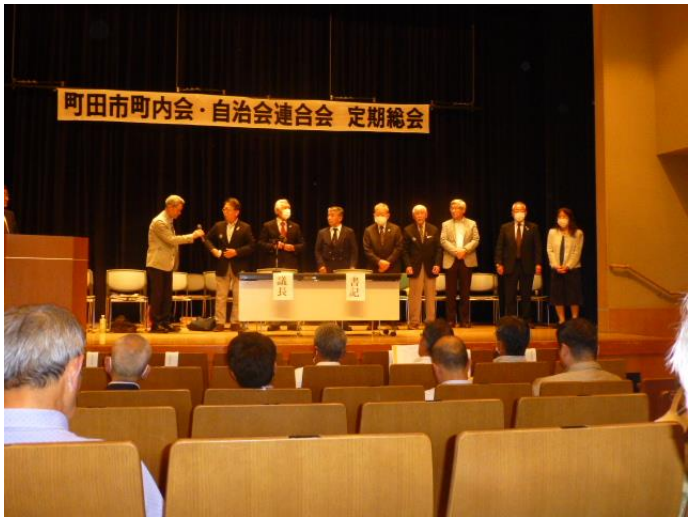
(第５号議案) 規約の一部改正（第６条）

会長が任期を残して辞任したときは、新しい会長を地区長の互選により選任し、任期は前会長の残された任期とする。ただし、第２項の任期には算入しない。

第１から第５号議案まで、それぞれ丁寧な議案の説明があり、大変活発な質疑応答の後、各議案とも賛成多数で可決採択されました。

議長解任後に、新役員の紹介がありました。

最後に、地域の発展、連合会の運営に貢献された方々に記念品を添えて感謝状・表彰状が贈呈され、今年の定期総会は閉会しました。



（２０２３年度役員）

（編集委員　大坂武男）